

# 特 記 仕 様 書

## 第1条 総 則

1. 本特記仕様書は、「交付金事業 市道下出馬渡線測量設計業務委託」（以下本業務という）に適用する。
2. 本業務の履行にあたっては、本特記仕様書によるほか鹿児島県公共測量作業規程並びに同規程に係る運用基準（以下「規程」という）、鹿児島県土木部測量調査業務共通仕様書（以下「測量共通仕様書」という）、鹿児島県土木部設計業務等共通仕様書（以下「設計共通仕様書」という）等及び調査職員の指示によるものとする。

## 第2条 履行期限

本業務の履行期限は、令和8年11月30日限りとする。

## 第3条 業務目的

本業務は、地形図（1/5000）及び測量業務成果等を基に道路線形を選定し、道路改良工事に必要な平面図、20mピッチの縦横断の設計及び小構造物、排水計算等の設計を行い各工種別の数量計算を行うものとする。

## 第4条 適用基準

本業務は、設計共通仕様書、測量共通仕様書、本特記仕様書によるほか、次の基準等により履行しなければならない。

- 1) 道路構造令
- 2) 道路事業の手引き 鹿児島県土木部
- 3) 南九州市市道の構造の技術的基準等を定める条例
- 4) その他関連基準

## 第5条 管理技術者、照査技術者、担当技術者

1. 本業務における管理技術者及び照査技術者は設計共通仕様書に基づき定めること。
2. 担当技術者は設計共通仕様書及び測量共通仕様書によること。

## 第6条 作業地区および作業量

本業務における作業地区及び作業量は次のとおりとする。

- 1) 作業地区 南九州市頰娃町御領地内（別図参照）
- 2) 作 業 量 基準点測量 10点  
現地測量 0.023km<sup>2</sup>  
路線測量 0.46km  
道路詳細設計 0.46km  
CBR試験 3箇所

## 第7条 契約変更

本業務実施において作業数量の増減が生じた場合は、南九州市と協議の上、契約変更の対象とすることができる。

## 第8条 機器の検定

受注者は、測量に使用する機器について、規程に定める検定に関する技術を有する第三者機関の検定を受け、同機関の発行する検定証明書を提出すること。

## 第9条 業務計画及び作業計画

受注者は、契約後速やかに業務計画書及び作業計画書を作成し、調査職員に提出、承諾を得なければならない。変更する場合も同様とする。

## 第10条 精度管理

測量業務における精度管理については、規程第12条3項に定めのある点検測量率は、規程運用基準第12条によるものとする。

## 第11条 安全管理

本業務の実施にあたっては関係法規を遵守するとともに、特に道路上の作業時には、交通整理員や安全標識等を設置して、作業中の安全に留意しなければならない。また作業中に事故が発生した場合には、速やかに事故発生の原因、経過、被害状況等の内容を南九州市に報告するとともに、受注者の責任において、この処理対策にあたらなければならないものとする。

## 第12条 疑義

本特別仕様書に明示していない事項あるいは作業過程において、疑義が生じた場合は速やかに南九州市と協議し、その指示を受けなければならない。

## 第13条 検査

本業務完了後は、最終検査を受けるものとし、加除・訂正等の指示を受けた場合、速やかにその指示に従うものとする。また、それに要する経費は、受注者が負担するものとする。

## 第14条 成果品

成果品は、次のとおりとする。

- 1) 報告書 1部
- 2) 電子データ 1部 (CADデータ : SFC)
- 3) 図面 (A1) 1部  
(A3) 1部

## 第15条 電子納品

本業務は、電子納品の対象とする。電子納品とは、別紙「南九州市電子納品の手引き」(今後南九州市ホームページに掲載予定)に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。電子納品の運用にあたっては「南九州市電子納品の手引き」に基づきおこなうものとする。

#### 第 16 条 成果品の瑕疵

受注者は、それぞれの作業工程において所定の精度を得るため当該作業が誤りなく実施されるよう常に十分な点検及び検査を行わなければならない。また、受注者はその成果について誤りを発見した場合は、作業完了後であっても責任をもってその誤りを訂正しなければならない。なお、本件に要する費用はすべて受注者の負担とする。

#### 第 17 条 その他

1. 道路線形についての地元説明会を予定しているため、調査職員と十分な協議をおこない、図面等を準備すること。